

## PRO O2 5 酸素発生器

### 重要、安全ガイドライン

- あなたが不快感を感じている場合は、直ちに使用を中止して機器提供者または医師に連絡してください。
- ユニットは、酸素療法と医療処方のみ使用してください。
- 規定された 1 日の持続時間および流量を守らなければならない。さもなければ、患者の健康に危険をもたらす可能性がある。
- 延長コードまたはアダプターは使用しないで下さい。
- 使用中に装置の近くで喫煙しないで下さい。
- MRI、X 線などの磁気環境では使用しないで下さい。
- ユニットのカバーを取り外さないで下さい。
- 酸素は可燃ガスではありませんが、材料の燃焼を加速します。火災の危険性を避ける為、火気、白熱灯、熱源、油、グリース、溶剤、エアロゾルなどの可燃製品から離して下さい。
- 本装置はFDA品質システム規則に準拠していますが、近くにあるほかの装置の影響を受ける可能性があります。

### 使用説明/目的

PRO O2は、医師の監督下での酸素療法プログラムの医学的使用のみを目的としています。このデバイスは処方箋でのみ入手可能であり、人生をサポートしたり維持したりすることを意図したものではありません。

本装置は、室内空気に含まれる酸素を濃縮することにより高濃度の酸素を生成する。

規定された 1 日の持続時間および流量を守らなければならない。さもなければ、患者の健康に危険をもたらす可能性がある。

### スタートアップとインストラクション

1. 電源スイッチ（1）が0ポジションになっている事を確認する。
2. 本体後ろのフィルター（8）が塞がれていないか確認する。
3. 電源コード（10）をコンセントに差し込みます。
4. 酸素チューブを酸素出口（2）コネクタに接続します。

もし加湿器を使用する場合は、推奨レベルに水を入れ、酸素出口（3）に加湿器を取り付けてから、加湿器の出口に酸素チューブを取り付けます。

5. 電源スイッチを押して（1）の位置にします、赤色のインジケータランプ（6）が点灯し、システムの圧力が許容レベルに達するまでアラームが鳴ります。

注意：必要な酸素濃度は、通常電源を入れてから5分以内に得られます。

6. 流量調整ノブ（4）を希望流量に回し合わせます。流量計が付いている機種は流量計内のボールを流量を示す線の中心に合わせる。正確な設定の為には、水平に本体を設置してください。

7. 終了する場合は、電源スイッチ（1）を（0）のオフ位置に押しします。

注意：機械の電源を切った後、残留酸素の流れは約1分程続きます。

#### 掃除/メンテナンス

注意：メンテナンスやクリーニングを行なう前に電源プラグを抜いてください。

装置の外側だけを柔らかい乾いた布で、または必要に応じて中性洗剤で濡らし固く絞った布で拭いてください。

アセトン、研磨剤、可燃性の製品は使用しないこと。

取り外し可能な外部キャビネットフィルター（8）は毎週清掃する必要があります。

埃の多い所では、より頻繁な清掃が必要です。石鹼水で洗浄してフィルターをきれいにし、良くすすぎ、フィルターを乾燥させます。

加湿器（規定されている場合）および酸素チューブの洗浄要件については、製造メーカーの指示に従ってください。

注意：

追加のメンテナンスは必要なく、患者が行なう必要は有りません。装置の予防保守および修理の為に製造業者の指示は、装置の提供者に提供されるマニュアルに定義されています。

#### アラーム/安全装置

停電アラーム：電源が切れた場合は連続アラームが鳴ります。

プロセス障害アラーム（6）：プロセスに障害がある場合、赤色のインジケーター（6）とアラームが鳴ります。

サーキットブレーカー（5）：電力供給に問題が発生した場合回路遮断器（5）がトリップする。

緑色ランプ（6）：システムが正常なことを示している。

赤ランプ（6）：システム障害が発生したか、電源が供給されていないことを示します。

#### 仕様書

流量 0.125－5L/分 酸素濃度 2L/分まで93%±3% 2L/分以上90%±3%

外寸 W396 x D394xH706mm 重量 24kg 電源 100V 330－700W

バックプレッシャーが7Kpaまでの場合、流量変動は±10%以内です。

最大吐出圧 50Kpa 運転時間 15000時間

フロー精度 ISO 8359 に準拠しています。

## 保管手順

この装置は保管運搬使用時は垂直に立てたままにする事。

## アクセサリーの廃棄

ユニットおよびアクセサリーは、使用されている地域の機関に適合する方法で処分してください。

毎週キャビネットフィルターを洗浄して下さい。

環境に応じて、2年ごと、またはより頻繁にフィルターを交換してください。

性能を維持する為には、15000時間または3年ごとに、酸素濃度を確認してください。

## トラブルシューティング

観 察 考えられる原因 解決方法

電源スイッチが ON の位置 (I) にあるが装置が動かない

アラームが連続して鳴る

電源コードが (10) が外れているか停電。

コンセントに正しく接続されていることを確認してください。

回路ブレーカー (5) を確認し、必要に応じてリセットしてください。

赤のインジケータランプが点灯したまま。

製品の圧力または酸素純度が許容可能なレベルでない。 業者へ連絡

ユニットが最初 ON になった時にアラームは鳴りません。

9V 電池交換、内部の電氣的な障害 業差へ連絡

正常に動作しているが、緑のランプが点灯しない。

インジケータの故障 業者へ

装置が突然停止し、数分後に再び起動する。

フィルターが汚れている。コンプレッサーの熱遮断。 フィルター (8) 業者へ

装置は動作しているが、アラームは連続して鳴る。内部の故障 止めて業者へ

酸素の流れが中断されるか、またはカニューレの流れが不規則に感じられる。

チューブが折れ曲がっているか、詰まっている。